

令和 5 年 5 月 29 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18K00437

研究課題名(和文) 21世紀アメリカ小説における「偶然の土着性」について

研究課題名(英文) Accidental Sense of the Local in the 21st Century American Fiction

研究代表者

藤井 光 (Fujii, Hikaru)

東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授

研究者番号：20546668

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、主に21世紀のアメリカ文学(なかでも小説)において、土地との関わりが「偶然」という要素を強調されて描かれるという現象の諸相を解き明かすことを目指したものである。その過程で、1)主に白人作家の文学における新自由主義経済と文学生産との関係、2)移民文学における過去の記憶やボーダー概念の変化、3)空間的・文化的な制約を超えた「共感」への警戒感、4)「翻訳」を物語の中心に組み込んだ小説の台頭、といった現象を考察することになった。今後、それらの主題を個別に発展させていく必要がある。また、そうした主題を含む現代小説の翻訳紹介にも努めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究が対象とした現代英語圏文学の研究において、アイデンティティの問題をはじめとする個人の「声」という視点は広く共有されている。一方で、現代作家たちがそうした「声」の背後にある集団間での不均衡な関係への注目を強め、あるいは非英語圏での記憶を英語によって語る際に「共感」への批判的視点を物語自体に取り込んでいる、といった論点は、現代文学の成り立つ条件を論じることを可能にしたといえる。

研究成果の概要(英文)：This study has intended to tackle with aspects of the literary phenomenon in the United States in the 21st century, predominantly in the novel, in which descriptions of character's relationship to the land they live in are accompanied by an emphasis on the element of "chance." This insight has led to the nuanced examinations of such subjects as 1) the relationship between neoliberal economics and literary production in the literature by white writers, 2) changing relations with the memory of the past and notions of borders in immigrant literature, 3) a sense of ambivalence to "empathy" beyond spatial and cultural constraints, and 4) the rise of novels that incorporate "translation" as the core idea in their narratives. In the future, each of these subjects will have to be developed individually. The translation of such contemporary literary texts into Japanese was also carried out.

研究分野：現代英語圏小説

キーワード：現代文学 英語圏文学 翻訳 移民文学 記憶と物語 創造性文化と文学

1. 研究開始当初の背景

本研究を開始した時点において、21世紀のアメリカ小説を中心とする英語圏文学の研究においては、現代文学における「土着性」と「偶然」の要素をあわせて論じる試みは少なかった。特定の土地や地域との関係が一過性で偶然のものでしかないという現象の背景にある、1980年代から進行する新自由主義経済については、文学テキストに入り込んでいるという研究は増加傾向にあった。その一方で、文学テキスト自体が新自由主義経済の論理を内在させながら批判的な距離を取ろうとする語りの戦略を、「共感」や「翻訳」といった主題から分析する研究はごく少数であった。

2. 研究の目的

目下のグローバリゼーションにおける覇権言語である英語での創作は、現代が抱え込んだ矛盾をもっとも先鋭化した形で見せているのであり、その諸相を明らかにすることが本研究の主眼である。より具体的には、本研究は、20世紀終盤から加速的に進行するグローバリゼーションや新自由主義経済の広がりのもとで書かれた現代の小説が、1)みずからがその状況から生まれていることに意識的になりつつ、2)そうした状況への批判を組み込んだ物語を作り上げる、という課題にどう取り組んでいるのかを明らかにすることを目指したものである。

3. 研究の方法

本研究は現代英語圏(主にアメリカ文学)の小説を取り上げ、1)資本や人の「移動」という現象と、その背景としての新自由主義経済の論理が個々の文学テキストにどう影響を与え、ときには物語の構造や主題を決定しているか、を社会学や政治学の知見を取り入れつつ考察し、同時に2)物語自体が、みずからの属する時代に対してどのような批判的視点を取り入れているのか、を「共感」や「翻訳」を主題とする2010年代の文学研究の動向を踏まえて論じる、という手法を採用した。

4. 研究成果

研究期間中に単著の完成と刊行には至らなかったものの、共著書4冊、雑誌論文2本、口頭発表7回(招待講演3回、うち海外での講演2回)、翻訳14冊(共訳は除く)、辞典項目執筆1点(海外出版)、という形で研究成果の発表を行った。以下、共著書と雑誌論文について、将来的な単著としての刊行の基礎となるために詳述する。

1) 共著書

『ノンフィクションの英米文学』(金星堂)においては、現代作家が小説を他メディアからの「アダプテーション」のように偽装し、物語の受容のあり方を探りつつ、言語という表現形式の可能性を模索していることを論じた。また、『空とアメリカ文学』(彩流社)では、現代小説における「空」の主題に、単に空路という人の移動のみならず、ドローンなどの監視テクノロジーや移動の自由を保障された資本という主題が絡み合っていることを確認した。『ヒッピー世代の先覚者たち 対抗文化とアメリカの伝統』(小鳥遊書房)では、1960年代後半から1970年代にかけての文化を牽引したヒッピー世代の感性が、21世紀において「リバイバル」を遂げる際に、個人主義や創造性といった特徴が反体制的なものから体制の中核に移行しているという事態を、作家がどう受け止めているのかを分析した。また、『現代アメリカ文学ポップコーン大盛』(書肆侃侃房)では、現代文学において「共感」が商品価値となっている現状に対して作家がどう取り組んでいるのかを、アメリカ文学に限定せず、シンガポール、マレーシア、フィリピンなどアジア圏の英語文学もカバーする形で考察した。

2) 雑誌論文

「2018年の小説が想像する、資本主義と物語の感染性」(文化交流研究)においては、パンデミック前夜にパンデミック的状况を設定として選んだ2つの小説を論じ、物語における「共感」もひとつの感染の形として想定されていることを分析した。また、「ポール・ユーンにおけるディアスポラの記憶と物語の空白—「ウラジオストック駅」とサハリンをめぐって—」(れにくさ)では、韓国系アメリカ人作家ユーンが、みずからのルーツとは離れたロシア沿海州とサハリンという土地を物語の舞台に選んだことで生じる、コリアン・ディアスポラと言語の関係を考察した。

3) その他

本研究の対象として共著書・論文でも取り上げた小説について、日本語での翻訳を出版する機会を得た。具体的には、アルフィアン・サアット『マレー素描集』(書肆侃侃房)、モーシン・ハミッド『西への出口』(新潮社)、リン・マー『断絶』(白水社)である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 藤井光	4. 巻 12
2. 論文標題 「ポール・ユーンにおけるディアスポラの記憶と物語の空白 「ウラジオストック駅」とサハリンをめぐって」藤井光、『れにくさ』、12号、pp.19-36.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 れにくさ	6. 最初と最後の頁 19-36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井光	4. 巻 35
2. 論文標題 2018年の小説が想像する、資本主義と物語の感染性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文化交流研究	6. 最初と最後の頁 19-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井光	4. 巻 35号
2. 論文標題 観光客と難民のあいだで：移動と共感をめぐる21世紀アメリカ小説	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 北海道アメリカ文学	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 0件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 藤井光
2. 発表標題 歴史と物語が21世紀に創出するステージの内と外
3. 学会等名 日本英文学会 第93回全国大会シンポジア第7部門「小説家と歴史」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤井光
2. 発表標題 2010年代のアメリカ小説における「病」の感染性
3. 学会等名 第66回日本英文学会北海道支部大会シンポジウム「アメリカ文学と病」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤井光
2. 発表標題 移動と共感のエコノミー：21世紀アメリカ小説とその外をめぐって
3. 学会等名 日本アメリカ文学会第57回全国大会シンポジア
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 マーガレット・アトウッド他著、藤井光他訳	4. 発行年 2021年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 352
3. 書名 デカメロン・プロジェクト	

1. 著者名 アルフィアン・サアット著、藤井 光訳	4. 発行年 2021年
2. 出版社 書肆侃侃房	5. 総ページ数 248
3. 書名 マレー素描集	

1. 著者名 竹内 理矢、山本 洋平	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 256
3. 書名 深まりゆくアメリカ文学	

1. 著者名 青木耕平、加藤有佳織、里内克巳、佐々木楓、日野原慶、藤井光、矢倉喬士、吉田恭子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 書肆侃侃房	5. 総ページ数 368
3. 書名 現代アメリカ文学ポップコーン大盛	

1. 著者名 コルソン・ホワイトヘッド、藤井 光	4. 発行年 2020年
2. 出版社 早川書房	5. 総ページ数 272
3. 書名 ニッケル・ボーイズ	

1. 著者名 リン・マー、藤井 光	4. 発行年 2021年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 348
3. 書名 断絶	

1. 著者名 石原剛編、藤井光他10名	4. 発行年 2019年
2. 出版社 彩流社	5. 総ページ数 297
3. 書名 『空とアメリカ文学』	

1. 著者名 中山悟視編、藤井光他12名	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 328
3. 書名 『ヒッピー世代の先覚者たち 対抗文化とアメリカの伝統』	

1. 著者名 藤井光	4. 発行年 2019年
2. 出版社 研究社	5. 総ページ数 197
3. 書名 『21世紀×アメリカ小説×翻訳演習』	

1. 著者名 レベッカ・マカーイ（藤井光訳）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新潮社	5. 総ページ数 318
3. 書名 戦時の音楽	

1. 著者名 ミロスラフ・ペンコフ (藤井光訳)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 306
3. 書名 西欧の東	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------